

公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」

平成20年度ファンド助成を受けた団体の応募（活動）内容等

助成応募時の公開審査会（プレゼンテーション）資料等を抜粋加工

【活動助成コースの部】

No	団体	内容（活動テーマ・資金使途・主な活動地域）
1	全国引きこもりKHJ高知県支部「やいろ鳥」の会	引きこもりへの支援と問題認識がテーマ。同会設立1年半で、カウンセラーの指導のもと親が精神的に開放され支えあう関係作りを進めてきた。昨年10月には若者支援施設「ポレポレ農園」を開設。野菜の販売も開始し、引きこもりの子供も農園に出てくるようになってきている。今後、農園の充実や、引きこもり問題の社会的認識のために、公開講演会の開催を予定。農耕用具、耕運機、講演会開催費等。高知県。
2	坂本龍馬脱藩の郷 ゆすはらであいの会	梶原に訪れた人々との「であいとふれあい」、「梶原流おもてなし」がテーマ。歴史的に価値ある「坂本龍馬脱藩の道」を活用し、交流人口の増加に資するため、3年前「りょうま会」を立上げ活動開始。団体ツアーのボランティアガイド等積極的に行う。「花・人・土佐であい博」のイベントにも参加、活動の更なる充実化のため、複数団体が連携し、「ゆすはらであいの会」結成。観光案内等の事務費やお弁当の提供、紹介、土産品等。梶原町。
3	よい食生活をすすめるネットワーク	「健全な食への道」を目指す姿勢を持ち、人間性豊かな社会の創出を目的。「健全な食への道」を目指し、知識や情報を地域社会に向けてることにより、啓発活動を行っていく。「食」に関わる団体の点の活動を線・面にすることを旨とし、昨年7月に同会設立総会を開催。今後、総会、定例会、学習会等を開催し、成果を活動に反映させる。各会の開催費用や、事務費等。高知県。
4	特定非営利活動法人 こうち男女共同参画ポレール	誰もが主体的に男女共同参画社会づくりに参画し、エンパワーし、全ての人々が人権を尊重され、平等にその人らしく生きられる社会を実現するために、各種講座や講演会、映画祭、情報誌発行等の啓発事業を行うことを活動テーマとする。サククス演奏&トーク、男性子育て入門塾、定年後のニューライフ、情報誌発行等を計画。謝金、事務費、会場費等。高知県。
5	高知ミモザの会	明治・大正・昭和の高知の女性の生活史を角度を変えながら考究し、次世代に伝えるための活動がテーマ。「高知の女性の生活史・ひとくちに話せる人生じゃあない」(17年、ソール出版)の作成委メンバーで、本会を組織し研究活動を継続している。19年より3ヵ年計画で、軍事郵便に着目、兵士の戦場での生活や、受け取った家族のその後の生活への影響等を読み取り、収集・保存・出版に向けた活動を行う。印刷代、編集費等。高知県。

公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」

平成20年度ファンド助成を受けた団体の応募（活動）内容等

助成応募時の公開審査会（プレゼンテーション）資料等を抜粋加工

No	団体	内容（活動テーマ・資金使途・主な活動地域）
6	土佐学協会	土佐に生きる人・心を寄せる人に喜び・希望・活力を与える土佐学の創造およびその成果を学校教育や生涯学習の場に提供することを目的とし、調査・研究による土佐学の発展と創造や普及、関連事業の実施によって土佐を元気にする。定例研究会や、秋の収穫祭を県民参加で開催、ニュースレターや「土佐学年報」を発行し、公開。年報・会誌発行費、調査・研究費等。高知県。
7	高知演劇ネットワーク・演会	舞台芸術をツールにしたまちづくりの実現がテーマ。毎年開催する「演劇祭KOCHI」も8回目を迎え、文化行政や公共ホールとの協働の取組や積極的な提言を行う等、地域のアートNPOとしての社会的ミッションを果たす活動。昨年は「天守物語」プロジェクトで、舞台芸術に関心を持たなかった人々の興味を引き出し、中央商店街の活性化の一役を担うことを目指し、結果的に1400名の来場者、大変盛況であった。道具制作費、音響照明費等。高知県。
8	高知SGG善意通訳クラブ	高知県の観光地を外国の方に案内する通訳ボランティアとして国際観光及び国際交流を支援することを事業テーマとする。関係機関と連携し、高知城の案内板、本丸廊下門のパネル展示の英訳小冊子の発行も手がけ、外国人観光客に喜ばれている。今年で発足20周年を迎えるにあたり、20周年記念事業として、外国人講師による講演会や、異文化交流事業等を予定。20周年記念事業費や、研修費等。高知県。
9	野中婉を顕彰する会	土佐藩前期における執政野中兼山の娘 婉女の生涯に胸打たれ、日本最初の女医として民衆のために生きた彼女を一人でも多くの人に知ってもらい、史蹟、文化を大切にする高知を目指すことを事業テーマとする。兼山、婉等の眠る墓地の清掃、婉の生涯を描いた映画「婉という女」の上映や講演、兼山の偉業を偲び、お婉堂、山田堰跡等の見学。文化財、史蹟大切にするよう、行政への訴求等を行う。映画上映、講演費等。高知県。
10	NPO法人高知市こども劇場	ひとつの文化体験としての『あそび』を大切にしながら、舞台を作り上げていく演劇の手法等を用いた表現活動を通じて、子どもたちの五感を刺激し、感じる心を育て、気持ちを伝え合う能力（コミュニケーション力）を育てる。初めて顔を合わせる相手と打ち解けられるようなコミュニケーションゲームをする等の多彩なプログラムを毎月1回行う。講師旅費・謝金、印刷製本費等。高知県。

公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」

平成20年度ファンド助成を受けた団体の応募（活動）内容等

助成応募時の公開審査会（プレゼンテーション）資料等を抜粋加工

No	団体	内容（活動テーマ・資金使途・主な活動地域）
11	上東を愛する会	活動テーマは、「四国初『スティーロパン楽団』の結成を目指して!」地域組織「上東を愛する会」の活動の一環として、平成17年より『PANの学校』事業を始める。演奏の体験（練習）、ドラム缶から楽器を作る体験を行う。本年度は、演奏できる人材の育成、楽器を作る技術の習得、楽器の完成品の製作、楽団結成スケジュールの検討、地域の将来を考える住民意識の醸成等を達成目標とする。講師謝金、スティーロパン購入費等。高知県。
12	NPO法人四万十なかまの会 （共同作業所森のいえ）	昨年4月にNPO法人四万十なかまの会を設立。『森のいえ』『きつと』共同作業所2つが合併。毎日20人以上の方々で作業。『森のいえ』では炭焼き作業、『きつと』ではお菓子、縫製作り作業をしながら地域の人々と共に働く喜びを味わいつつ、労働意欲の喚起や人と人との接し方、生きる力を育み身体管理を図り、心の豊かさを養うことにより社会復帰を促進。作業所授産道具等。四万十市。
13	高知県民俗芸能ネットワーク協議会	県内で民俗芸能（歌舞伎・芝居等）活動を行っている団体及び個人で連携したネットワークを形成し、幅広く県内の民俗芸能等の保存・継承活動の活性化と民俗芸能の県民への認知及び普及を促進することを目的として活動。当ネットワークを通じ、舞・鳴り物・化粧等の技術者の高齢化のため、伝承されないまま失われようとしている民俗芸能の伝承講座を開講。謝金・旅費、消耗品費等。高知県。
14	ウインターカーニバル実行委員会	クリスマスの時期に合わせた冬のお祭りを、本山町にて行っている。昨年は、吉野運動公園にて開催。コンサート、模擬店、ホームラン競争、イルミネーション等、PM12:00～21:00まで盛り沢山のイベント。ウインターカーニバルを通して参加した人たちのコミュニケーションから郷土への愛着心と希望を持つような『まちづくり』を目的とする。事務経費、会場費等。本山町。
15	四万十移住者の会「四万人」	移住者ならではの発想や視点を活かし、元々存在する地元の地域文化や素材と新たな技術やノウハウをうまく組み合わせ、互いの役割・得意分野を融合。新産業や雇用の機会を創り出していく活動を通じ、地元と移住者の見えない壁を取り除いていきつつ更なる移住促進を図り、過疎化を少しでも食い止め、地域コミュニティの活性化を実現していく。宣伝広告費、機材費等。四万十市。

公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」

平成20年度ファンド助成を受けた団体の応募（活動）内容等

助成応募時の公開審査会（プレゼンテーション）資料等を抜粋加工

【ハード整備助成コースの部】

No	団体	内容（活動テーマ・資金使途・主な活動地域）
1	なはり浦の会	歴史的建造物を文化財保存制度に登録する等の活動を通じ、古き良きものを後世に伝え、地域住民が主役となるコミュニティづくりや交流人口の拡大を図る。整備事業のテーマは、町並み拠点施設を活用したコミュニティづくり。今回拠点施設の整備を行い、地域の情報発信基地として、また観光客やお遍路さんと地域住民の交流の場として役立てる。現施設は老朽化が激しく夏冬場の使用が出来ないが、整備後通年の利用が可能。奈半利町。
2	ふるさと土佐土居廓中保存会	昭和49年に結成。地区内の生け垣管理、お濠排水雑草除去、修繕、安芸城跡の雑木伐採等。整備事業のテーマは、土用竹生け垣の押しぶち整備。押しぶちは維持管理に労力を要し景観維持に苦慮。藩政時代から続く歴史的な町並みを保全し風習と伝統文化を継承する。年間5万人以上の観光客が訪れるため、経済的効果の期待とともに、地域住民を主体とし、観光ボランティアガイド、学校、行政等を巻き込んで本事業に取り組む。材料費のみ。安芸市。